

移住者受入・活躍応援計画の概要

(京丹波町)

<p>計画の名称</p>	<p>地域資源・魅力を活用した関係人口創出からつなげる移住促進計画</p>
<p>対象となる移住促進特別区域の名称</p>	<p>竹野地区・高原地区 桧山地区・梅田地区・三ノ宮地区・質美地区 和知第1ブロック地区・和知第2ブロック地区・和知中部地区・和知西部地区</p>
<p>テーマ</p>	<p>京丹波町移住相談窓口【道の駅和】を拠点とした地域資源・魅力を活用した関係人口創出からつなげる移住促進による地域の活性化</p>
<p>区域の特色及び将来像 (計画より抜粋)</p>	<p>○丹波高原の気候・風土を生かして質の高い農林産物が生産され、府内有数の酪農地帯であるなど、豊かな「食」を活かして、京丹波町のブランド力向上、生産拡大に取り組んでいる地域です。</p> <p>○古くから交通の要衝として栄えており、現在も京都縦貫自動車道やJR山陰本線、三つの国道が交わり、京阪神などの大都市圏へ1時間台で移動できるなど比較的交通環境に恵まれている地域です。</p> <p>○行政・商工会・金融機関の3者でつくる京丹波町創業支援ネットワークが移住またはUターン、Iターンをして起業を考えている方々へ支援を行っています。</p> <p>○移住またはUターン、Iターンをして就農を考えている方に対して、新規就農者向け地域サポート計画を策定し、研修制度の紹介、生活・住居に関する支援、農地確保、技術、販路など様々な方面から支援をしています。</p> <p>○京丹波町移住相談窓口【道の駅和】を拠点とし、更に観光拠点施設でもある町内に3か所ある道の駅に移住PRコーナーや出張移住相談窓口を設置するなど連携し、上記特色を活かしながら、関係人口を創出し、移住定住促進に繋げ、地域の活性化を目指します。</p> <p>○町では、町が持つ資源や資産を活用したタウンプロモーションを実行するための「京丹波町プロモーション戦略」の策定に取り組んでいる。策定にあたり、未来のまちづくりをともに考え、実行し、様々なアイデアを十分反映できる戦略づくりを行うための組織として、「京丹波町官民連携プロモーションチーム(kyotamba innovation Lab)」を設立している。本組織と連携しながら町内外に効果的・戦略的に情報を発信し、関係人口の増加につなげる。</p>

移住者受入・活躍応援計画の概要

(京丹波町)

<p>事業概要 (計画より抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○移住相談窓口の機能強化 ○移住者に対する総合的支援（移住相談、地域への繋ぎ、先輩移住者の紹介、移住後のサポートなど） ○起業者、新規就農者への支援 ○地域イベント情報の発信、地域住民との移住希望者等関係人口との交流会の開催 ○空き家情報バンクの充実（空き家の掘り起こし、空き家バンクツアー等） ○農産物のブランド力強化、魅力発信。 ○京丹波ファンづくり（京丹波町の魅力を多方面に発信してもらう母体づくり）
<p>関係人口、移住を希望される方に期待すること等 (計画より抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民と協調し地域活動に積極的に参加できる方 ○小学生以下の子どもがいる若年層やファミリー層 ○農地、山林等の維持管理の担い手になる方 ○新規就農等、農地を活用される方 ○空き家や耕作放棄地などの地域資源を活用し起業される方や地域の魅力を情報発信される方 ○地域に居住して都市部に通勤する方 ○職人や芸術に携わった経験を有するなど地域の伝統文化を継承できる人材
<p>協働する団体等</p>	<p>竹野活性化委員会・高原地区移住促進連絡会・桧山地域振興会・梅田地域振興会・三ノ宮地域振興会・質美地域振興会・京丹波町北部振興会・上和知中部村おこし委員会・和知中部連絡会・わち西部元気づくり委員会・京の田舎ぐらしナビゲーター・商工会・金融機関・JA 京都・京丹波町農業公社・京丹波町観光協会・京丹波町農業委員会・地域おこし協力隊、kyotambainnovation Lab・各集落農業組織</p>
<p>事業実施の核となる拠点</p>	<p>■京丹波町移住相談窓口【道の駅和】 京丹波町移住定住支援サイト「住もう、京丹波。」 https://kyotambai.ju.com/</p>
<p>関連 URL</p>	<p>—</p>
<p>本計画に関するお問い合わせ先</p>	<p>担当部署名：京丹波町役場総務部企画情報課移住定住推進係 電話番号：0771-82-3801</p>